

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成27年9月7日（月）～平成27年9月13日（日）〔第37週〕の感染症発生状況

第37週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)手足口病 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

手足口病の定点当たり患者報告数は6.42人と前週（5.73人）からやや増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.03人と前週（4.82人）からやや減少し、ほぼ例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.06人と前週（1.45人）から増加し、例年よりかなり高いレベルで推移しています。

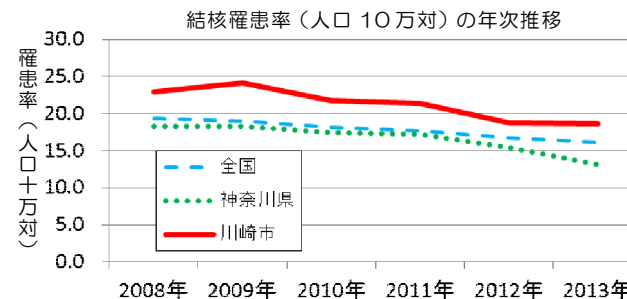
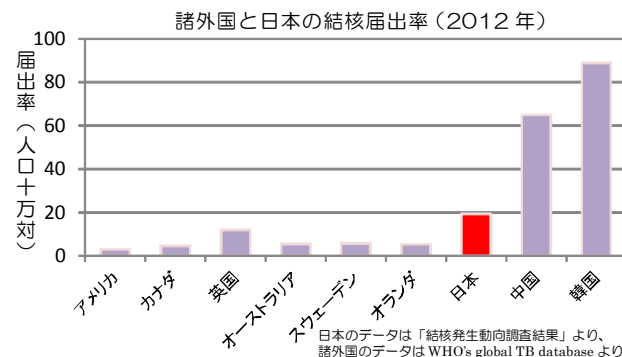


「結核」知って予防。早めの受診。～結核予防週間～

平成27年9月24日から9月30日は結核予防週間です。

結核は、結核菌によって発生する感染症で、わが国は結核罹患率が高いため、世界の中では依然「中まん延国」とされています。また、都市部での結核罹患率は高く、川崎市も全国に比べて高い状況です。

結核を知ることが予防への第一歩です。早期発見・早期治療はご本人の重症化を防ぐだけでなく、大切な家族や職場等への感染拡大を防ぐためにも重要です。



こんなときは医療機関へ！！

結核の初期症状は風邪とよく似ています。次のような症状が続く場合には、結核を疑って早めに医療機関を受診してください。

- ① 咳が2週間以上続く
- ② 痰（たん）が出る
- ③ 体がだるい
- ④ 微熱が続いている

